

子どもたちが幸せに生きる熊本に！

熊本県議会議員 つつみ泰之活動報告

つつみ @ 通信



1月27日告示、2月8日投開票で総選挙を行われることが正式に表明されました。私も早速自民党青年部の朝の辻立ちに参加しています。憲法に対する考え方や選択的夫婦別姓について考え方が近いとはいえ立憲民主党と公明党の新党結成には驚きました。現職議員の中には怒りや失望の声が上がっていますが、これからの国の方向性を問うにはわかりやすい構図になりました。維新や参政党の政策は高市総理に近い部分も多くあります。その中で自民党が高市総理の高い支持率を党の信頼に結び付けられるかが問われます。急激に不確実化する国際政治の中で日本がこれからどうあるか、世界が見ています。

【1月15日(木) 令和8年度1月臨時議会・自民党県連選対会議】

国の緊急経済対策等の為の臨時議会が1月15日に行われました。内容としては渋滞・交通アクセス改善の推進、防災・減災、国土強靱化等の推進、農林土木分野における国直轄事業、燃料・物価高騰に対する生活者や事業者、子どもや困難な問題を抱える女性への支援、そして半導体産業の為の工業用水道、下水道整備の予算が審議・決定しました。また議会後、自民党県連の会議があり衆議院選の総選挙長に松村祥史参議院議員が選出されました。



書籍紹介



『マンキュー経済学I ミクロ編』
『マンキュー経済学II マクロ編』
N/グレゴリー・マンキュー/著

「経済学は日常生活における人々を研究するものである。」という言葉があります。CFPとしての知識はあるものの政治家として経済学の基礎を学ぶ為2冊で1500ページに及ぶ本書を半年かけて読みました。関数やグラフにコラムや小問を交え、難しかったですが、確かにわかりやすかったです。「市場の見えざる手がその魔法を実現する為には制度を政府が維持し、ルールの番人となっていることが必要である。」

今月の数字

全国の高規格道路の供用率

88% (令和7年度迄)

昭和62年6月に閣議決定された第四次全国総合開発計画で、全国の都市・農村地区から概ね1時間程度で利用が可能となる約14,000kmの道路網が「高規格幹線道路」として位置付けられ、現在も整備が進んでいます。このうち全国の88%の道路が既に供用されていますが、九州においては供用率が80%台前半となっています。近年、南海トラフ地震等への備えの必要性から国土強靱化計画においても予算が加えられています。工事費の高騰やインフラ維持管理費の増大で進捗の速度の低下が懸念されています。

製作者：つつみやすゆきプロフィール 1974年7月7日 熊本市中央区水前寺のツツミ薬局の5人兄弟の長男に生まれる。

[学校] 託麻原小、帯山中、熊本学園大学付属高校、熊本YMCA学院建築科卒

[経歴] 現場監督から建築設計事務所勤務を経て、福岡の不動産会社に勤務。平成18年に開業・現職

2022年5月の熊本県議会議員選挙熊本第一選挙区補欠選挙にて20033票で初当選、2023年4月、10,789票で2期目当選

[資格] 宅建士・宅建マイスター・不動産コンサルティングマスター (相続対策専門士)・2級建築士・CFP (国際認定FP資格)・防災士